

お父さんの健康を守る ～泌尿器科系の病気について～

50代以上の働き盛りの男性がかかりやすい病気として、ここ数年注目を集めている前立腺がん。「男性の病気だから…」とあまり関心がないかもしれませんが、実はお父さんや上司など、身近な存在にも発病の危険は潜んでいるのです。早期発見・早期治療で、お父さんたちの健康を守りましょう。



Profile

岩澤 晶彦 院長

1977年札幌西高卒業、85年札幌医科大学卒業、同大泌尿器科入局、94年ヘルシンキ大学留学、96年北里柴三郎記念学術奨励賞受賞、98年札幌医科大学泌尿器科非常勤講師、岩澤クリニック開院。日本臨床泌尿器科医会常務理事、日本泌尿器科学会オフィスウロロジー副部長、札幌市泌尿器科医会副会長、医学博士

50代になったら気を付けたい、前立腺肥大症と前立腺がん

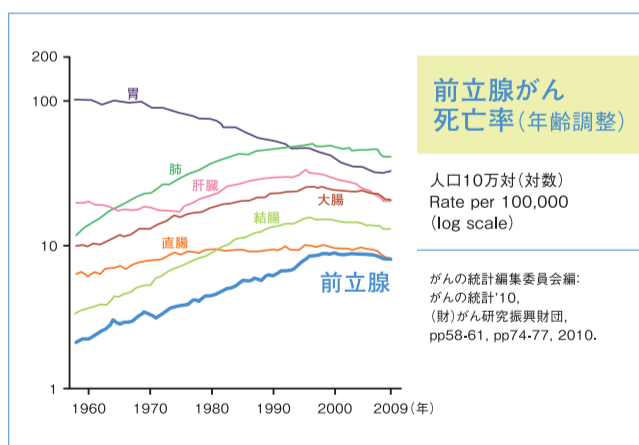
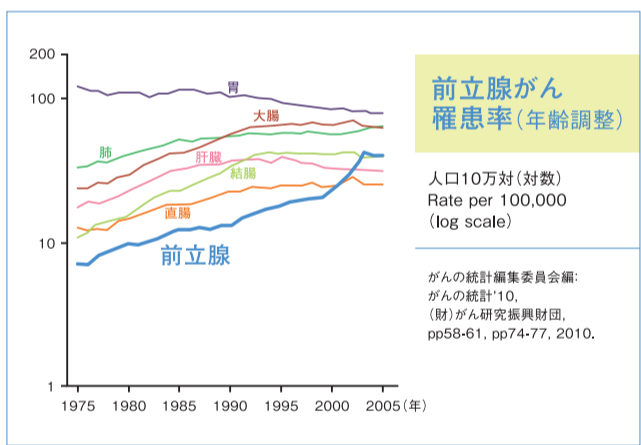
50代以上の男性には、排尿障害の悩みを抱えている方が多いといわれています。残尿感があつたり、トイレが近くなるといった症状がみられた時に疑われるのが、前立腺肥大症、過活動膀胱といった病気です。前立腺とは、男性だけが持つ生殖器で、膀胱のすぐ下であり、尿道を取り囲んでいる臓器です。前立腺は、年齢を重ねるにつれ、男性ホルモンなどの影響によって大きくなっていきます。進行すると尿道が圧迫されて尿の出が悪くなったり、残尿感が出現します。「年のせい」「ストレスによるもの」などといって放っておくと、症状が悪化し、尿道が塞がって尿が出せなくなる場合もあります。前立腺肥大症は、きちんと治療すれば普段の生活を送れるようになりますので、早めに専門医に相談をしましょう。

また、前立腺がんは現在、男性のがんの中で胃がん、大腸がん、肺がんに次ぎ4番目に多いとされており、2020年には肺がんに続き、2番目に多くなるともいわれています。前立腺がんの症状は、痛みなどを感じないため、初期の場合は自覚症状がありませんので注意が必要です。前立腺肥大症と前立腺がんは、どちらも男性ホルモンや加齢に関する病気ですが、まったく異なる疾患です。そのため、前立腺肥大症から前立腺がんへ進行することはありません。前立腺がんの診断は素人では判断が出来ません。いざにせよ、健康を守るには早期発見・早期治療が大切なので、50歳以上の男性で排尿に異常を感じたら、すぐに専門医の検診を受けてください。

どうしたら前立腺がんが見つかるのでしょうか。

前立腺がんの疑いがあるかどうかを調べるには、問診のほかに、PSA検査、直腸診、経直腸的エコー検査を行います。直腸診は、肛門から指を入れて前立腺を触診する検査です。また、経直腸的エコー検査は、肛門から細い超音波プローブを入れて、前立腺の形や大きさを診断します。PSA検査は、前立腺がん検査の中でも、もっとも精度が高いとされている検査で、採血によって前立腺の組織の中にあるPSA（前立腺特異抗原）という物質の量を測定し、診断します。PSAの数値が4ng/mL未満なら正常、4ng/mL以上であれば前立腺がんの可能性が疑われます。数値が10ng/mL未満なら検診は3年に1回、それ以外であれば、1年に1回の定期検診を受けましょう。家族に前立腺がん患者がいる場合は発症率も高まるため、そういった家庭の方は50代といわず、40代になったらPSA検査を受けることをお勧めします。内科でも検査は出来ますので、かかりつけの医者でチェックしてもらってもいいでしょう。PSA検査は、前立腺がんの疑いで行う場合は保険診療、自覚症状がなく検診の一環として行う場合は保険適応外となります。

また、前立腺の病気の1つとして、最近では、前立腺炎に悩む患者さんも増えています。これは、



前立腺がんを予防する方法はありますか？

30代から40代と、比較的若い人に起こりやすい病気、ストレスや疲労、冷え、細菌の感染などが原因だといわれています。症状としては、残尿感や頻尿、下腹部の痛みなどが挙げられますので、気になる場合は一人で悩まず、専門医に相談してください。

残念ながらこれといった明確な予防法はありませんが、がんの予防ということでは、挙げてみると、やはり食生活や生活スタイルの改善だと言えるでしょう。食事は、なるべく肉類を控え、積極的に緑黄色野菜を摂取するよう心がけましょう。食べ過ぎもよくありません。また、度の強いお酒を飲み過ぎたり、刺激の強い食べ物も極力避けるようにしましょう。栄養バランスを考えた食事を取り、適度な運動をすることが、がんを防ぐ第一歩だと思います。

ここ数年、テレビや雑誌などでも前立腺がんの検診の必要性が叫ばれており、一般的な認知度も少しずつ高まっています。当院にも検診にいらっしゃる患者さんは、以前より増えています。PSA検査によって早期発見されたがんは、治療によって根治できる可能性が高いので、「年のせい」と放っておかず、50代になったら、まずは1度検診を受けてみることをお勧めします。

●取材協力/医療法人札幌会 岩澤クリニック
国札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2階
☎011-613-6000 ☒http://www.iwasawa-clinic.jp/

<http://www.astrazeneca.co.jp/>

